

市議会だより

6月定例会 一般質問

● 16人の議員が市政について質問しました。
● 主な内容については次のとおりです。

稲垣 一夫 議員

名鉄西尾・蒲郡線の 存続問題について

- 問** 名鉄西尾・蒲郡線を残す意義について、どのようにとらえていますか。
- 答** 高校生や高齢者などの地域住民にとって欠かすことのできない路線として、存続に向けた検討や議論を進めてきました。交通弱者のために残していかなければなりません。
- 問** 残すために何が必要と思いますか。
- 答** 利用者を増やすしかありません。少しでも多くの方に利用していただき、多くのメッセージを届けていくことが必要です。

会議の公開について

- 問** 名鉄西尾・蒲郡線が廃線になった場合、どのような弊害が考えられますか。
- 答** 開発を進めるうえで大きな障害が予想され、周辺土地の資産価値にも影響を及ぼすと考えられます。
- 問** 各種会議を公開すべきだと思いますが、今後どのように取り組みますか。
- 答** 本年度中に基準等を策定し、会議の公開を速やかに実施します。

防災教育、防災管理について

- 問** 防災計画における公共施設整備の見直しはどのようですか。
- 答** 東日本大震災の教訓として、最寄りのビルに駆け上がって助かった事例

も多々あることから、公共施設を所管している担当部局との話し合いを行います。また、公共施設再配置基本計画の方針に基づき、既存施設を活用した津波一時待避所としての機能強化を積極的に図っていきます。

問 3階以上の公共施設の屋上などに手すりを取り付けませんか。

答 公共施設の収容人数などを勘案し、屋上に手すり等を設け、待避可能者数を少しでも増やすことが必要と考えています。

文化的行事の取組について

- 問** 文豪尾崎士郎没後50年行事をどのように取り組みますか。
- 答** 記念事業として、講演会の開催や吉良地区の小・中学生を対象に実施している尾崎士郎作文賞を広く一般公募するなど、今後検討していきます。



牧野 勝子 議員

消費税増税等の及ぼす市政と 市民への影響について

問 消費税を10%にした場合、西尾市の歳入歳出に及ぼす影響はどのようですか。

答 消費税が10%の場合、10億9千600万円の歳入超過となります。

問 10億円余の税収分を17万人の人口で割り戻すと一人当たり6千円余です。しかし、消費税増税の方は、保険会社「第一生命」の試算では、平均的な世帯で35万円の増税になります。さらに、経団連は消費税を19%に、法人税は25%に下げよう要求しています。さらに年間2千億円の社会保障費を削るよう求めています。これを市長はどう考えますか。

答 消費税の増税による歳入超過が10億円余であっても、その額が増税分ではありません。

問 西尾市の企業のうち黒字決算になっている企業は、何社中何社ですか。

答 平成24年3月末現在、3千272社中988社が黒字法人で、率にして30・2%です。

問 7割の企業が赤字で「中小企業は

消費税の価格への転嫁が難しい」と言われている中で増税は、景気に悪影響があると思いませんか。

◎ 今後の税制改革の議論に注目していきます。

◎ 消費税10%の場合、年収300万円以下の平均的な世帯の税負担は7%です。年収1千500万円以上の世帯では税負担が2・8%という試算もあります。いま労働者の3分の1以上が年収200万円以下であり、非正規雇用となっている現状で、消費税の増税は低所得者が生きることの苦しむことになりませんか。

◎ 低所得者への相対的な負担が大きくなる逆進性の問題は、国会で十分な審議がされることを望んでいます。

◎ 大企業の優遇税制の結果、大企業の内部留保金は260兆円、デンスーも2兆4千億円にもなっています。

◎ この状況が市民の暮らしにどのような影響していると考えますか。

◎ 消費税を総合的に判断されるよう期待しています。

◎ 消費税を5%に引き上げる前は、国全体で90兆円の税収がありました。引き上げ後は、なお76兆円にとどまっています。消費税増税で、税収全体は増収になると考えますか。

◎ 国会を注視していきます。

大竹 忍 議員

女性に対する支援策について

◎ 男女共同参画基本計画における女性に対する支援策はどのようですか。

◎ 現行プランを精査し、市民意識調査を踏まえ、女性の意見をより多く反映したプランとしていきます。

◎ 女性のためのハンドブックを作成しませんか。

◎ 現在のところ考えていませんが、検討すべき課題であると考えています。

防災・減災対策について

◎ 女性の視点からの防災・減災対策が必要です。防災課と男女共同参画担当部署との連携を図りませんか。

◎ 今後の計画立案や避難所運営マニュアル作成などにおいても、できる限りその参画と連携を図っていきます。

◎ 小・中学校や高校が災害時の避難所に指定されています。しかし、被災後の学校の早期再開、教育機能を維持することの必要性が問われています。

◎ 地域がいかに学校を支援できるかなど、

平時から地域と学校が連携するために、連絡協議会を設置しませんか。

◎ 学校は本来、子ども達の教育の場であり、避難所としての機能は、あくまでも一時的なものと考えなければなりません。連絡協議会の設置までは考えていませんが、町内会や自主防災会などを通じて、避難所運営や学校の早期再開などについて、協力関係が保てるようにしていきます。

◎ 地震による建物の崩壊から命を守る全ての方法（耐震シェルター、防災ベットなど）に、建物の耐震化と同様の補助制度を導入しませんか。

◎ 先進地の事例を参考にしながら検討していきます。

◎ 災害基本条例を制定しませんか。

◎ 近隣市の動向を勘案しながら、検討していきます。

節電対策とCO₂削減について

◎ 本庁舎及び各支所の執務スペースにおける照明器具のさらなる節電対策について、反射材の活用などにより消費電力を上げずに照度を上げる等の工夫をしませんか。

◎ 更なる節電対策として、費用対効果を十分検証していきます。

◎ 学校や公共施設の照明器具を省電

力器具へ順次取り換えませんか。

◎ 節電対策と電気料金の節約にもつながるので、機器の更新時には機器選定の重要な要素としたい。

◎ 学校や各公共施設の古い空調設備の更新時に、省エネタイプにし、電力需要抑制を図りませんか。

前田 修 議員

学校施設、教師の過重労働について

◎ 市内全小・中学校の校舎、体育館、プール、トイレの漏水対策など、年度別の整備計画を策定しませんか。

◎ 児童・生徒が安心して過ごせるように環境整備計画を策定する必要があります。専門の業者に依頼することも含め、今後検討していきます。

◎ 教師の長時間勤務が深刻であり、民間で規制される月45時間、過労死判断基準の月80時間を超える事例も少なくありません。改善しませんか。

◎ 今年度から全学校で実態把握に努めており、過重労働防止、健康管理に配慮していきます。状況については改

めて報告します。

吉良幡豆地区の風力発電について

問 幡豆の鳥羽から吉良町宮迫にわたる稜線に2千キロワット規模の風車10基を建設する大型の計画があります。

近い集落の方々には、低周波、騒音、光の公害、自然環境への影響なども考えられ全国的には大問題となっています。どのように認識していますか。

答 公害、生態系、景観など国から具体的な指針も示されず未解決な状態ですが、住民の安全を最優先すべきことと考えています。

問 国の基準が曖昧な状況の中、業者が粛々と事業を進めていくのを傍観することは許されません。他市のように独自の条例制定やガイドライン策定を検討しませんか。

答 国の示すガイドラインや他市の状況も参考に対応していきます。

津波避難対策について

問 学校や公共施設の屋上を津波一時待避所とするよう強固な手すりの設置を考えませんか。

答 今後、具体的な検討に入っていきます。

問 沿岸部の県や市では、保育園や学校に津波対策用のライフジャケットを配置しています。西尾市でも検討しませんか。

答 装着することのメリット、デメリットの双方から、慎重に検討していきます。

デマンド式乗合タクシーについて

問 小学校区内の駅、バス停までという利用制限が、高齢者にとって使いづらいものとなっています。市独自に福祉型の制度も合わせて運行する必要があると思いますが、どのようにですか。

答 実証運行と平行し、利用者の意見を調査し、それを踏まえ、西尾市全体の公共交通を見直していきます。

鈴木 規子 議員

市民に対する市長の政治姿勢

問 昨年8月の市民意識調査では「市政に市民の意見が反映されていない」が73%もの高率でしたが、市長は、これをどう受け止めていますか。

答 真摯に受け止め、市民が行政と懇談する機会、市民の声を聞き取る体制の整備をしていきたいと思えます。

問 どうしてこのような結果になったのだと思いますか。

答 調査の選択肢を4つしか設けなかったためだと思います。合併をして、その効果がすぐに感じられるものではないためかと思えます。

問 市長自身が市民の声を聞き取り、懇談の機会を設けるには恒例の「町内会長との懇談会」をこそ行うべきではありませんか。

答 選挙が近いのでやりません。呼んでくれれば職員がかけ付けていく「市民協働ガイド」制度をつくりました。

問 合併した市町では、2年後程度で「合併後を問うアンケート」をやっています。どう実施していきますか。

答 市民世論調査に含めてやるよう考えていきます。

問 若い人たちの声を積極的に聴く場として、実名でやりとりする「フェイスブック」で、一般市民にも公開する「市民とのメール交換」をしませんか。

答 4月からツイッターを開始しましたが、実名登録のフェイスブックについても十分検討していきます。

職員・消防団の綱紀粛正について

問 禁止されているにも拘わらず年末夜警時の分団詰所での飲酒が明らかと

なりました。マージャンなど詰所での遊興も聞きます。厳正に処分すべきではありませんか。

答 強く指導し、分団詰所の私的使用の禁止を徹底していきます。

問 幹部職員先導の賭けマージャン問題は未だに処分がされていません。真面目な職員のやる気をなくさないためにも、処分は速やかに行うべきではありませんか。

答 市民の皆さんに多大なるご迷惑と不信感を抱かせたことにお詫びします。法令遵守を強く指示し、再発防止に努めます。警察の処分を待って考えます。

問 賭けを促すメールが発信されています。具体的な再発防止策として、庁内での私的メールを禁止しませんか。

答 幹部会議を通じて綱紀粛正を指示しています。

問 このように職員の倫理意識が緩んでいるのは、市長が口で言うだけで職員には甘いためではありませんか。また、こうしたことが起きた時には厳然たる処分をされますか。

答 私は不祥事というのは決して防ぐことはできないと思えます。



商工会合併に対する行政の対応について

問 名称が類似している商工会と商工会議所の差異はどのようですか。

答 法律や所管する官庁などは違いますが、地域の基盤、構成する業種、組織、活動などの公共性は共通する面が多くあります。事業目的も、商工会議所は地域の総合団体として中小企業支援のみならず、幅広い事業に対し、商工会は経営改善普及事業等の小規模事業施策に重点を置いています。

問 吉良・幡豆町商工会は、本年10月1日に合併を目指し、協議を進めています。評価と支援策はどのようですか。

答 経営支援機能の拡充・強化、会員サービスの向上、組織の強化等を目的に、両地域の会員の皆さんの利益を第一に決断されたものと評価しています。新商工会の事業活動の推移を見ながら必要なものは、できる範囲で支援していきます。

問 指導施設や事務所などの指導環境の整備が必要であり、会議所、商工会の支援実績はどのようですか。

答 会員が気軽に訪れることができる

指導環境の整備は必要と考えています。平成19年商工会議所会館建設では、用地取得費と建設費の2分の1を補助しました。商工会館改修に対する補助は、改修内容等を聞いて今後検討します。

安心安全で暮らせるまちづくり(地震防災)について

問 西尾市の漁港は何港で、港湾は何港ですか。また海岸線の総延長と管理別距離はどのようですか。

答 寺津、栄生、味沢、衣崎、宮崎、佐久島の6漁港で西尾市の管理です。一色、西幡豆の2漁港は県の管理です。吉田、東幡豆、衣浦の3港は愛知県の管理です。総延長は61・8キロメートル、県の所管は41・7キロメートル、市管理は14・7キロメートルです。

問 10年ほど未着手の矢作古川堤防の高潮対策改修工事の着工はいつですか。

答 県が本年度、左岸大島地区内で堤防高潮対策嵩上げ工事を、右岸松木島側で漏水対策工事を実施予定です。



応急処置の大島側堤防

問 地元要望の強い吉田港3基の防潮扉閉鎖の調整はどのようですか。

答 県と地元と調整を行い、3基とも常時閉鎖でまとまり閉鎖をします。

問 吉田小学校の屋上一時待避所の問題はどのようですか。

答 学校の屋上を津波一時待避所とするに法律の規制はありません。関係課と相談して、校舎の改修について検討していきます。

高須 一弘 議員

南北道路整備の進捗状況と今後の計画について

問 県道豊田一色線(西尾街道)の熱池交差点に右折帯設置の用地交渉は進んでいますか。

答 県が用地買収中で、平成23年度末で、進捗率38・5%です。

問 一色町池田から鶉ヶ池町に通じる市道鶉ヶ池平口線(農免道)の横手町交差点に右折帯を設置しませんか。

答 現在、右折帯の用地買収を進めており買収完了後、工事に着手し平成24年度中に完成を目指し整備を進めます。

問 都市計画道路岡崎一色線の整備はどの程度進んでいますか。今後の計画

はどのようですか。

答 岡崎一色線は、平成23年度末に今川町下落の交差点まで開通しました。それから南の衣浦岡崎線までを市道今川細池2号線として、平成25年3月の開通に向け整備を進めます。

問 都市計画道路安城一色線の工事はどの程度進んでいますか。

答 下町及び一色町味浜地内2・9キロメートルが供用開始区間です。上町から下町地内1・2キロメートルと一色町諏訪神社周辺430メートルで用地交渉を進めています。西尾市としては県に安城一色線の早期整備を強く要望します。

名鉄三河線跡地の有効利用と分割売買交渉について

問 市内の三河線跡地の総面積とそのうち市街化区域の面積はどの程度ですか。

答 公簿面積で約13万3千平方メートルで、うち市街化区域の面積は9万3千平方メートルです。

問 廃線によりレールが撤去され雑草地となつていますが、固定資産税は適正に課税されていますか。

答 鉄軌道用地の評価額は沿接地の3分の1の価格とされていますが、廃線後は現況評価で適正に課税しています。



旧名鉄三河一色駅

問 駅舎跡地を小規模公園として整備しませんか。

答 近隣地域の都市公園等の設置状況や配置バランス等を踏まえ、今後公園等の配置計画の中で検討していきます。

問 三河線跡地の有効活用は、合併に次ぐ重大事業です。市長2期目に向けた政治目標と位置づけて取り組む覚悟はありませんか。

答 平成18年8月に市議会にもご了承いただいた市の取得方針ですが、今後新たな課題である防災対策などの観点も踏まえて検討していきます。跡地協議は名鉄側が一括売却、当市が部分買い上げを要望し、交渉は難航していますが、私自ら名鉄に対し、直接要望していきます。残る任期全力で取り組んでいきます。

広中 利臣 議員

コンテンツ・ツーリズムとインバウンド等について

問 合コン・街コンの協議会を設置して婚活イベントを開催し、コンテンツ・ツーリズムの拠点を整備してプロジェクトチームを設置したり、コワーキングスペースで異業種交流や起業相談ができる拠点を整備しませんか。また、外国語音声ガイドや多言語ガイドブックを作成して外国人観光客向けの旅のサロンを設置する中で配布したり、インバウンド誘致のプロジェクトチームを設置しませんか。

答 街コンを10月に実施する予定で、その他は、研究し検討します。

救命の駅設置と災害時トイレ衛生管理士育成等について

問 学校に安全科を設置し、市民救命の駅を設置したり、防災士育成講座を開設しませんか。また、子ども等の排便と障がい者・高齢者等災害弱者のトイレを考える協議会を設置して、トイレの日等で震災等を考えるセミナーを開催し、誰でも使えるトイレを設置し、オストメイト（人工肛門装着者）のための補助具などを助成し、災害時トイレ衛生管理士を育成しませんか。

答 子どもの排便トイレを考える教育会と安全科は考えておりません。その他は、研究し検討します。

読書の日設置等について

問 図書館等であかちゃんタイムを設置し、絵本と読書の日を設置しませんか。そして、学校で読書科を設置しませんか。

答 読書科の新設は考えていませんが、その他は、研究し検討します。

スマートビレッジ等について

問 ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）設置団体に補助して再生エネルギー等で農村部を賄うスマートビレッジ事業を推進しませんか。そして、多機能携帯端末（タブレット）や農産物インターネットサイトを使って農家を支援するシステムを構築して、新規需要米等の作付農家に助成し、農地バンク制度を設置しませんか。また、農薬散布の周知の徹底をして農薬（化学物質）過敏症対応マニュアルを作成配布しませんか。

答 農地バンクは9月補正で対応し、マニュアルは考えていませんが、その他は、研究し検討します。

買い物難民弱者支援等について

問 デマンド型乗合タクシー利用者や買い物難民弱者にスマートフォンを配布してタクシー会社と連携支援しませんか。また、カジメン育成講座を開設して地域に指導者を派遣し、家庭用米パン焼器購入補助制度を設置しませんか。

答 電話による話し合いの調整で予約を受け付け、公共交通機関等を見直す中で考え、その他は、研究します。

田中 弘 議員

市政運営全般について

問 市長は、今年度の市政経営の理念に「融和」と「協働」を掲げられたが、協働への市長の想いはどのようですか。

答 市民協働は、市政運営の理念の中で最重要事項です。市民と行政がそれぞれの立場で汗をかき、「オール西尾」でまちづくりを進めることが大切であると認識しています。

問 市民との協働を進めるために、有効な手段、方法はありますか。

答 まずは、お互いの特性と立場を理解し、情報を共有することが不可欠です。このため今年度から「市民協働ガイド」をスタートさせました。市民の皆さんが集まる会合等に職員がかけつけて、生の声を聞き、市の情報を発信する仕組みを創設しました。

問 市民協働ガイドで出された市民の要望などは、聞きっぱなしになることはありませんか。

答 会合の中で、皆さんから出された質問や要望など、その場でお答えできない場合は、持ち帰り所管部に伝えます。所管部局で精査・検討のうえ、改めてご返事しますので、聞きっぱなしになるようなことはありません。

問 昨年度、企業誘致の体制を強化されましたが、その効果と実績はどのようですか。

答 誘致実績は、延べ126社を訪問し、中畑平坂工業団地で1社が工場建設、宮迫樫木工業団地で2社が造成工事に着手、岡山石流工業団地では1社が事業所移転に着手しています。

問 幡豆地区利用活性策を県に要望されたと聞きますが、その内容はどのようなものですか。

答 県が中部国際空港建設用土砂の確保と採取後の造成事業を行うため用地取得しました。幡豆地区の県有地の有効活用は西尾市の振興及び県の振興に

も貢献しますので、総合的な利活用の策定と幹線道路整備の要望をしました。



有効利活用が待たれる幡豆地区の県有地

防災対策について

問 大震災や台風等の自然災害時における職員の行動を定めた活動マニュアルを策定していますか。

答 災害時の職員行動を定めた活動マニュアルは、西尾市地域防災計画の応急対策活動として整備しており、速やかな対応が図れるようにしています。

問 東日本大震災教訓の一つに避難所における障がい児の生活が問題になりました。西尾市も障がい児に対する配慮が必要です。そのために(仮称)室場こども園を福祉避難所にしませんか。

答 障がいを持つ児童が通園している施設を避難所にするには保護者も含め安心かつ有効と考えますので、保護者や関係部局と協議調整を進めます。

問 沿岸部地域に配布した標高表示板を沿岸部以外にも配布しませんか。

答 地域への配布や公共施設への設置だけではなく電柱にも取り付けることを考えています。地域の要望を取りまとめ、遅くとも12月には完了したいと考えています。

松井晋一郎 議員

児童・生徒を守る防犯の取組について

問 最近の市内児童・生徒をねらった犯罪についてどのような認識をしていますか。

答 昨年度の不審者情報は全部で39件ありました。身体に被害を受けた事件は発生していませんが、精神的なダメージは少なからず受けているものと認識しています。

問 小・中学校の児童・生徒は、全員が防犯ブザーを所持していることが望ましいと考えます。学校、PTA等と協議し、方針を定めませんか。

答 防犯ブザーについては、防犯ホイッスル以上に有効なツールと考えてい

ます。反面、耐久性等に問題があることも認識しています。今後も校長会やPTA等と協議していきます。

問 地域ぐるみの防犯訓練は、犯罪抑止に有効と考えます。学校と連携した地域での防犯訓練の実施を推奨しませんか。

答 今後、学校の実情に応じて、地域ぐるみの防犯訓練や町内会等との連携をぜひ検討していきます。

野良犬・野良猫問題への取組について

問 野良犬、野良猫の相談、情報収集対応窓口は市の環境保全課でよろしいですか。

答 環境保全課で対応します。

問 担当課の対応と同時に、各支所での現場の実情に応じたケース・バイ・ケースの柔軟かつ積極的な対応が必要と考えますが、いかがですか。

答 環境保全課と各支所との連携を図り、可能な範囲で柔軟に対応していきます。

問 県動物保護管理センターへの情報提供は一本化することが必要であり、効果的と考えます。住民から町内会、そして各支所から本庁という体制づくりが必要と考えますが、いかがですか。

◎ センターが迅速かつ効率的な行動が取れるように協力していく体制づくりが必要と考えています。

問 野良犬問題についても協働の理念と、現実に即した活動が必要と考えます。行政や町内会、地域住民の役割分担をどのように考えていますか。

◎ 安心の確保と動物愛護の面も含めた活動を、地域住民の方と行政との連携を図っていきける仕組みづくりを検討していきます。



保護・捕獲された野犬

津波・洪水避難ステーション付簡易歩道橋について

問 市内の歩道橋について津波や洪水時の一時避難所として活用するために津波・洪水避難ステーション付簡易歩道橋として段階的に改修されるように国や県に要望しませんか。

◎ 防災施策を進める中で施設が必要となれば、愛知県に歩道橋の改修計画に合わせ設置を要望していきます。

徳倉 正美 議員

佐久島地区の諸問題について

問 佐久島の人口は、現在3000人を割り、しかも65歳以上の高齢者が50%を超えています。島の消防力の要となる消防団も高齢化が進んでおり、消防力の低下が懸念されています。常備消防のない離島という特殊性を考慮して住民の誰もが操作でき、初期消火に有用な地上式消火栓をきめ細かく設置していく考えはありませんか。

◎ 消火栓が設置されていないエリアについては、必要となる水道管の太さが細いためであり、設置するには配管の敷設などに多額な費用が必要となります。今後、水道配管の改修などの機会を活用して、対応していきます。また、初期消火に有効な手段も並行して考えていきます。

問 佐久島行ききの渡船が、大潮の干潮時に、佐久島東港へ入港できなくなっています。島民にとって生活に不可欠な生活航路でありますので、航路の浚せつを早急に進めませんか。

◎ 早期に浚せつができるよう関係機関との調整を図り、対応していきます。

問 島には、夜間に利用できるヘリポートがありません。島民の生命にかか

ることですので、夜間も利用可能なヘリポートの整備を進めませんか。

◎ 島のヘリコプター場外離着陸場については、防災ヘリ、ドクターヘリとともに、佐久島小中学校のグラウンドを利用しています。現在では、周囲の環境条件により、昼間のみ利用可能となっています。夜間の緊急搬送のヘリコプターの有用性は、十分認識していますので、関係部局と連携し、夜間対応型の場外離着陸場の整備を目指していきます。

災害に備えた排水機場の整備計画について

問 この5年間で、27か所の排水機場の整備が進められています。まだ未整備の排水機場がありますが、その整備計画はどのようなのですか。

◎ 今年度には市施行で、南奥田、藤江第一、大岡、恵善、東実録第2排水機場の5か所の排水機を整備する計画です。新しく造り直す更新事業として、前野排水機場等を県に要望していきま

す。また、高島排水機場については、隣接する横須賀排水機場、高島第2排水機場の3排水機場をセットでの整備を考えています。

号線より南側に建設すべきと考えますが、市の計画はどのようなのですか。

◎ 現在施行位置を検討している段階で、位置については未決定です。市としては、地元の要望も聞きながら、県に伝えていきます。

安藤 好実 議員

エネルギー対策と防災について

問 電力不足を補うためにメガソーラーや風力発電会社を誘致していく考えはありませんか。

◎ メガソーラー発電施設の誘致活動は積極的に行います。風力発電施設は慎重に進めます。

問 近隣市では、電力の供給元を特定規模電気事業者いわゆる新電力に切り替えて電力の節約を図っていますが、本市においても、早急に進めていくべきですが、どのような方向で考えていますか。

◎ 電気の供給元を中部電力から特定規模電気事業者へ切り替えることで節電を図るものですが、近隣では知立市、刈谷市が本年4月から切り替えを行いました。また、安城市では本年10月から切り替えを行うと聞いています。本市では、10月に切り替えができるよう

に準備を進めていきます。

問 中部電力から特定規模電気事業者に切り替えることで、年間どれほどの節約が図れると予想されますか。

答 市役所をはじめ76の施設で切り替えの準備を進めています。削減額は年間約1千900万円の節約を図ることができると予想をしています。

問 東日本大震災では、外国人も多くの犠牲者が出ていますが、外国人に対しては、災害時にどのような方法で安否確認をされますか。

答 当市には5千500人ほど見えます。西尾市国際交流協会と今後、対応について協議をします。また、今後開催予定となっている西尾市多文化共生推進協議会においても取り上げていく予定です。



問 東日本大震災では行政が指定した集積地には全国からの救援物資が天井まで届くほど山積みになっていますが、避難所には救援物資が届かなかったと報道されていました。そうした状況を踏まえ提携先の団体には事前に市内の避難所への地区割りをしていただいた方が災害時にスムーズにいくと思いますが、その辺の考え方はどのようなのですか。

答 指摘されたことを契機として、東日本大震災での教訓を生かしながら今後、具体的な方法や集積場所について研究していきます。

鈴木 正章 議員

クリーンエネルギーの現状と今後の取組について

問 太陽光発電を非常時電源として、避難所に計画的に整備しませんか。

答 太陽光発電装置と蓄電装置をセットで整備すれば有効と考えます。国はグリーンニューディール政策の名称で、防災拠点施設等への導入を推進していきますので、今後検討します。

問 市内の未利用地を、大型の太陽光発電施設として、活用しませんか。

答 市内の未利用地の有効活用などを総合的・計画的に調査・研究する研究部会を立ち上げ、自然エネルギーの普及促進に努めます。

問 風力発電施設で、今までの開発、運用で明らかになったデメリットは何ですか。

答 騒音・低周波音による健康被害、シャドウフリッカー（日陰）、バードストライク（鳥の衝突）、電波障害、工事での環境破壊、水質汚濁、景観破壊、

動植物への影響等があげられます。

問 風力発電施設の、開発、運用で明らかになったデメリットの国からの指針やガイドラインはありますか。

答 風力発電の環境影響評価、風力発電導入等のマニュアルがありますが、建設までの指導目標が主目的で、デメリットに対し、安全性を満足させる内容に至っていません。

問 今般の風力発電開発計画に対して市の方針はどのようなのですか。

答 最優先すべきは住民の安心・安全です。当事業でのデメリットについて未だ国から具体的な指針もなく、未解決の状況です。今後の情報に注視し、住民の皆さんの意見を大切にします。



風力発電建設計画が浮上した建設予定地（風車はイメージ）
矢崎川籠田橋から南方の稜線（山の尾根）を望む

水の社会インフラの現状と今後について

問 上水道管の現状と耐用年数はどのようですか。

答 法定耐用年数は40年です。総延長1千330キロメートルで計画的に耐震化も含め更新を進めます。

問 下水道管の現状と耐用年数はどのようですか。

答 法定耐用年数は50年です。総延長672キロメートル、整備率55%です。経過年数35年、当面更新はありません。

問 市内工業用水道施設の耐震性は確保されていますか。

答 県の管理ですが、すべて耐震化は実施済みです。

問 農業用水管の現状と更新予定はどのようですか。

答 総延長686キロメートル、法定耐用年数を超えた材質管もありますが、現在の農業状況、農業経営から新規の負担は厳しく、現状施設の維持管理をしていく予定と聞いています。

問 市として農業用水確保にどのように関わっていきますか。

答 農業用水確保は、農業発展には不可欠です。管理者の土地改良区と連携し、計画を考えていきます。

牧野 次郎 議員

碧南火力発電所の震災がれき
処理施設建設計画

問 市の直近で放射能汚染が心配される震災がれきの処理施設建設の計画は、住民も市もないがしろのもとで発表されました。市民に不安の声が広がっていますが、市の考えはどのようですか。

答 県からの報告があったのは、碧南火力発電所での処理計画は最大33万トンで、木くずの焼却と焼却灰の埋め立てという基本方針です。具体的な受け入れ基準、受け入れ施設の検討はこれから行うというものです。放射能汚染の基準、建設の完了時期、がれき処理までの時期も把握していません。現時点では、県の計画等が示されたうえで、関係市町と連携して対応します。

問 5月に災害廃棄物の推計量が見直され、木くずは半減、可燃物も3分の1に減少しました。県の計画では、量的・時間的に被災地の復興支援にはなりませんか、どうですか。

答 愛知県で検討しているのではないかと思います。

問 愛知県の計画は、市民の合意が得られなければ、市長は同意しないのかと思えます。

立場を示されませんか。

答 説明会をしつかりして、それで納得されなければ、賛成は得られないということですが。

問 放射能汚染から市民の安全を確保するためには、放射能測定器の設置をするべきではありませんか。

答 設置することは、考えていません。

平和都市宣言後の平和行政

問 3月23日に西尾市も平和都市宣言をしました。周知と啓蒙、今後の取組はどのように考えていますか。

答 機会あることにPRに努め、原爆の日や終戦の日には、電光掲示板での呼びかけを検討しています。市長も機会をとらえて市民への呼びかけを実施します。原爆パネル展については、市民グループへの協力をしていきます。平和市長会議や非核宣言自治体協議会への加入については検討します。

住宅リフォーム補助の実施を

問 リフォーム補助制度についての研究状況と実施の考えはどのようですか。

答 実施自治体の動向や実情を把握し、景気対策にも経済効果も見込まれることは十分に認識しています。地域経済が厳しい状況にあることも認識していま

すが、現在のところは考えていません。

西尾駅東へのアピタ進出
計画について

問 アピタ西南側の交差点はアピタへの進入路と10メートルしか距離がなく大変に危険な状態になるのではありませんか。

答 現在、事業者が公安委員会、西尾警察署等で協議中とのことです。



アピタ建設予定地の西南側交差点

永山 英人 議員

水道事業の現状と
今後の方針について

問 ポンプ設備の現在の稼働状況とポンプ設備の点検や修理は、どのように

行われていますか。

答 ポンプは、陸上ポンプと井戸水を汲み上げる水中ポンプの2種類で、19施設に65台設置しており、稼働状況は概ね半分の台数で交互に運転しています。点検修理は、陸上ポンプは専門業者に年1回、水中ポンプは毎日運転していますので点検はしていません。

問 老朽化したポンプの更新の仕方はどのようですか。

答 年次整備計画に沿って行っています。水中ポンプは、常時運転していますので、概ね10年を目途に更新しています。

問 泉水の購入費用はどれくらいですか。

答 平成19年度から23年度の5か年平均で約12億4千600万円です。

問 配水池、ポンプ場の平成23年度の耐震化率はどの程度ですか。

答 配水池の耐震化率は、全18施設のうち11施設で、約61%です。また、ポンプ場の耐震化率は、全ポンプ場揚水能力約23万2千500m³に対し、建屋耐震対策が完了したポンプ場揚水能力は約14万2千m³で約61%です。

問 湧水になったときの対策はどのようになっていますか。

答 4段階の節水対策を考えています。第1段階では、住民への節水PRと減

問 気軽に山頂に行けるように料金の見直しを要望しませんか。



三ヶ根山頂付近

答 三ヶ根山の自然を生かした観光にも力を入れませんか。
西尾市の東の玄関口に位置しており重要な観光地と認識しています。観光地としてのみならず、三ヶ根山を拠点とする各種イベントを開催し、参加者に三ヶ根山の持つ自然を実感していただき、また訪れていただくことも一つの手段ではないかと考えています。今後は、こうした事業の中で山頂付近の整備も必要があれば検討していきます。

問 気軽に山頂に行けるように料金の見直しを要望しませんか。
答 今回、訪問の議員におかれましては、緊密なスケジュールの中、西尾市

問 ニュージージーランドで開催された姉妹都市記念総会への招待に応じ、議員3人（鈴木亨、吉見、高野）が、市長の親書を携え、「日本一西尾」を、諸外国に広報してきました。
ポリルア市長はもろろん、ニュージージーランド首相や各国大使とも話す機会があり、早速、「抹茶の要請」がありました。
これらを踏まえ、姉妹都市との新展開はどのようになっていますか。

ポリルア市との姉妹都市交流について

高野 邦良 議員

答 見直しよりもいかに利用者を増やすかを多くの方からも意見をお聞かせいただきながら、より魅力的な観光資源としていけるように努力していきます。
問 大村知事が、県道路公社が運営する有料道路の民営化の方針を出されました。市としてどのように考えていますか。
答 詳細が分かっていますませんが、重要な観光地でありますので、現在のような維持管理ができるように要望していきます。

問 合併初年度の光と影。その影を、「コミュニティ」というキーワードで希望に転化しようと全力で駆け抜けた市職員がいました。この西尾市のプライドをかけた夢をどのように引き継ぎますか。

答 東日本大震災以降、全国的に地域の住民同士が助け合うコミュニティの重要性が叫ばれてきました。
核家族化や高齢者の一人暮らし世帯が年々増加する中で、西尾市としても地域コミュニティの必要性が浮き彫りになりました。
現在、西尾市が進めている校区コミュニティは、26小学校区中25小学校区で設立がされ、残す1地区も設立に向けて積極的に準備を進めています。
将来の西尾市が、コミュニティ活動

西尾市のプライドについて

の広報に努めていただきありがとうございます。高野議員のプレゼンテーションもすばらしかったと伺っています。
ポリルア市との交流は、歴代市長や議員をはじめ、中学生、高校生、市民の派遣など、民と官による交流を活発に繰り広げてきました。
これらの交流を礎として、今後は商工業、農業、文化芸術などのあらゆる分野で、両市の交流が展開できるような、各団体との調整を図っていきます。



米小パトロール隊員に見守られながら登校する児童たち

問 たとえば、米津小学校周辺の全道路は、児童の登校時間と勤労者の通勤時間が重なり、抜け道として利用する車で大混雑し、「ヒヤリ、ハット」の連続です。先日、コミュニティ協議会連名で、信号機の充実、ガードレールの設置、スクールゾーンの指定などの要望書を市長に提出しました。他にも、よく似た校区がかなりあります。時節がら一刻も速い対策を取れませんか。
答 よく精査し、そのようにしたいと考えています。

集団登下校時の交通事故対策について

により、住民同士のふれあいと絆が深まり、安心して暮らすことができるように今後も支援し続けます。



6月定例会で可決された議案



☆ 人権擁護委員に森野美砂代氏を推薦することに同意しました。

★西尾市水防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令が公布、施行されたことに伴い、改正するものです。
★西尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、改正するものです。
★市道路線の認定について	県より移管される道路を、市道として管理するため、認定するものです。
★辺地総合整備計画の変更について	計画計上事業の見直しにより、辺地対策事業債の予定額を変更するものです。
★平成24年度西尾市一般会計補正予算（第1号）	既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ3億232万4千円を追加するものです
★平成24年度西尾市渡船事業会計補正予算（第1号）	佐久島への船舶建造にかかる国からの交付金の内示がされたことにより、対象事業費の減額に伴う財源内訳を変更するものです。

6月定例会に出された請願書・陳情書

★年金2.5%の削減をやめるよう国への意見書提出を求める請願書	西尾市高島町1丁目14番地1 全日本年金者組合愛知県本部 西尾支部 支部長 嶋村直彦	(紹介議員) 前田 修 牧野 勝子	不採択
★すべての高齢者に月額3.3万円の年金を支給し年金受給資格期間を短縮するよう国への意見書提出を求める請願書	西尾市高島町1丁目14番地1 全日本年金者組合愛知県本部 西尾支部 支部長 嶋村直彦	(紹介議員) 前田 修 牧野 勝子	不採択
★年金支給年齢の引き上げをやめるよう国への意見書提出を求める請願書	西尾市高島町1丁目14番地1 全日本年金者組合愛知県本部 西尾支部 支部長 嶋村直彦	(紹介議員) 前田 修 牧野 勝子	不採択
★最低賃金の引き上げ、公契約条例の制定など働く者の権利を守り、公務・公共サービスの充実、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書	名古屋市北区柳原3-7-8 春の自治体キャラバン実行委員会 代表 樽松佐一		不採択
★最低賃金の引き上げなど働く者の権利を守り、公務・公共サービスの充実を求める陳情書	名古屋市北区柳原3-7-8 春の自治体キャラバン実行委員会 代表 樽松佐一		不採択
★TPP交渉に関する国民への適切な情報開示と拙速な対応をしないことを求める意見書の提出を求める陳情書	西尾市寄住町下田15番地 西三河農業協同組合 代表理事組合長 倉内 巖		採択

■意見書

次の意見書を、国会及び関係行政庁に提出しました。

★TPP交渉に関する国民への適切な情報開示と拙速な対応をしないことを求める意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣
外務大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣

■5月臨時会で可決された議案

☆ 西尾市監査委員に杉崎慎一郎氏を選任することに同意しました。

★工事請負契約について

(仮称)室場こども園通園施設棟建設工事に伴い、工事請負契約を締結するためのものです。

9月定例市議会 開催予定のお知らせ

3日(月)	本会
4日(火)	本会
5日(水)	本会
6日(木)	本会
10日(月)	厚生委員会
11日(火)	文教委員会
12日(水)	経済建設委員会
13日(木)	企画総務委員会
18日(火)・19日(水)・20日(木)	決算特別委員会
28日(金)	本会

開会時間は午前10時です。

*本会議は議場

*委員会は第1委員会室

議会テレビ中継のお知らせ(予定)
放送日

9月6日(木) (9月4日 一般質問)
9月10日(月) (9月5日 一般質問)
9月25日(火) (9月6日 一般質問)
ケーブルテレビ「キャッチ」
デジタル 107CHで放映
【放送開始時間】
いずれも18時からです。

インターネットで議会を見てみよう

西尾市議会ホームページから
アクセスできます。ぜひご覧ください。

編集室

今年の七夕には雲の間から夏の三角形が見えました。久しぶりに織姫様と彦星様が出会えたのではないのでしょうか。

日に日に暑くなり、日の出とともにセミの声も聞こえてくるようになってきました。今年も節電の夏と言われています。各家庭でもいろいろな工夫をされていて、青々とした緑のカーテンを見ると涼しげに感じます。

また、夏の夜空を彩る花火大会を見に行った時などには、しばし星空を見て心を休めたいものです。(H.N)



議会だより編集委員

◎ 中村 眞一 ○ 前田 修
松井晋一郎 永山 英人
稲垣 一夫 颯田 栄作
高野 邦良 大竹 忍
西尾市議会議会だより編集委員会

電話 56-2111
FAX 54-0311

■ホームページ(<http://www.city.nishio.aichi.jp/>)で、本会議、委員会の会議録(質問者、回答者のすべての内容)が閲覧できます。